

小中一貫教育、CS・地学協働のさらなる充実へ

小中一貫・CS 通信

NO.68 R6.11.29 幕別町教育委員会 学校教育推進員

朝の最低気温がマイナスとなることが増え、季節はすっかり冬へ移りました。流行が報道されているマイコプラズマ肺炎にインフルエンザ、新型コロナの3つ同時流行（トリプルデミック）も懸念されていますが、体調維持に気を付けて今シーズンを乗り切りたいものです。この秋、小中一貫・CSの各学園では、実践交流会や合同研修会を開催し小中一貫教育の充実を図る研修に取り組んでいました。その成果を日々の授業に生かし2学期を締めくくべく教育活動を進めています。

今月は、シリーズ学園紹介の第2弾さつない学園と札内東学園の紹介です。

シリーズ学園紹介 小中一貫の学園って、どんなことをしているの？

学園紹介その2 さつない学園と札内東学園

さつない学園って、どんな学校？

大規模校2校（札内中・札南小）と小規模校（途別小）による二小一中の施設分離型小中一貫校で、市街地の広がる札内地区と広い農村地区を校区にもつ学園です。

定期的な生徒指導交流会、特別支援教育交流 … 進む小中・小小連携



毎月、生徒指導交流会が開かれ、各校から生徒指導担当の先生と主幹教諭、教頭が参加して、児童生徒の様子を交流しています。生徒指導上の課題や学校行事の様子、校外生活や不登校の子ども達の様子などの交流のほか、成長している点やうまくいっていることを自慢し合うこともしています。

毎月開催することによって、小中の先生方のつながりも深まり、何かあったときスムーズに連絡を取り合い情報共有ができるようになってきており、また、困難を抱えている家庭へ連携してフォローする態勢も少しずつできてきています。

この生徒指導交流会とは別に、こころ部生活のきまり部会が学期ごとに開かれ、生徒指導等の交流が行われています。特別支援教育の交流も学期ごとに実施され、学園内の連携が今年度特に大きく進みました。

子ども達の交流も行われ、途別小学校の閉校・統合の関わりから、小学校同士の合同授業が行われています。3学期には中学校への一日登校も企画され、2つの小学校の6年生が中学生と交流する予定になっています。

拡充される乗入授業 カリキュラム部会で確認された学園の学力課題に基づき、中学校から小学校への乗入授業が行われています。学級数の多い大規模校ならではの困難さから、そう頻繁には行えないのですが、毎年少しずつ内容を充実させています。10月には、札内南小と途別小の合同授業に中学校の数学教師近藤教諭が乗り入れました。「もしもこの世に数字がなかったら？」との問いかけから、一生懸命考え、話し合う授業を展開しました。



光る春休み、夏休みの取組



札内中学校では、入学前の新1年生の生徒に学力テストのレクチャーを行う「春休み学び講座」が4月初旬の学級発表の日に行われています。例年50名以上の子ども達が参加する盛況ぶりです。また、夏休みには「夏休み学習STEP」という自習室開放が3日間開催されています。小学校の先生と一緒に指導に入る小中連携の取組で、「友達と学び合いながらできてよかった。」との生徒の声が寄せられています。冬休みにも「冬の学習STEP」が予定されていて、長期休業中にも小中一貫の取組が行われています。

少しずつ進む地域との連携

これまで児童生徒合同で行ってきたあいさつ運動を地域の方々にも広げようと、10月下旬、地域合同あいさつ運動を兼ねて実施しました。近隣の町内会の方々が集まってくださり、子ども達と元気にあいさつを交わしました。



地域学校協働活動の進め方に悩むのはこの学園も同じですが、まくべつ学園の取組に学んで、まずはあいさつ運動から連携を進めようと奮闘するさつない学園です。

札内東学園って、どんな学校？

中規模校3校による二小一中の施設分離型小中一貫校で 札内市街地の西部の一部から北部、東部に加えて、千住や稲志別などの農村地区をも含む広大な校区を持つ学園です。

地域と進める教育活動 学園のふるさと学習・キャリア教育の教育課程に基づく「野遊び×教育プログラム」や職場体験実習など地域の力に依拠した教育活動が進められています。



小学校2校合同で進められている「野遊び×教育プログラム」では、十勝ヒルズ（低学年）、北王農林、デスティネーション十勝、北海道パートナーズ（中学年）、ニッタ株式会社、大坂林業、



幕別町役場、地域おこし協力隊（高学年）の絶大な協力でふるさと学習が進められています。

中学校でもパークゴルフ協会の協力によるパークゴルフ体験学習や多くの企業・団体の協力による職場体験実習など、地域と進める教育活動が盛んに実施されています。

小中一貫教育の柱の一つであるふるさと学習・キャリア教育が年々充実しています。

すっかり定着した中学校登校 学期ごとに行われている中学校登校もすっかり軌道に乗り、小中連携の取組として定着しています。7月に行われた第1回では、校舎内見学や体育の授業体験などが行われ、中学校の雰囲気を感じてきました。中学校への期待感の大きさとともに不安も抱えている6年生が、中学校登校を通して少しずつ不安を解消



していく、という姿を例年多く見えています。大きな効果を持った取組になっています。今後も、中学校登校は12月と2月に、今回とはまた違うプログラムで実施されることになっています。

毎年拡充される乗入授業 学習指導部が中心に進めている乗入授業も毎年少しずつ拡充されています。

空き時間を生み出すにも苦労する指導体制の中、中学校の先生方が頑張って時数を増やす努力を続けています。

6月には美術教師の柴田教諭が、端末を活用したコマ送りアニメーション制作の乗入授業を実施しました。小学校の図工とは違った内容の学習に熱心に取り組む子ども達。中学校の先生にも慣れて安心感を持つ機会となりました。

先生方の工夫で、毎年質量ともに拡充を目指して乗入授業に取り組んでいます。



CSと地学協働活動が両輪の動き

学園・学校経営に直結する活発な熟議が行われる運営協議会、協議会委員と兼任するメンバーが中心となって動く地域学校協働本部、この2つが両輪となって学園・学校をサポート。これが札内東学園の大きな特長となっています。



学校に入るサポーターの「チロッター」(白人小)「きたよ〜♪」(札北小)が活動の幅を広げ、当初の図書ボランティアだけでなく、授業支援にも取り組んでいます。また、農園や花壇のサポートなど幅広い支援の輪ができています。

小中一貫教育とコミュニティ・スクール、地学協働本部ががっちりスクラムを組む体制が進む札内東学園です。

小中一貫教育・CS関係 12月の動き

- 2日(月) まくべつ学園中学校登校①(1日登校)
- 4日(水) 札内東学園野遊び×教育プログラム6年合同(幕別町役場)
さつない学園一日登校部会(札内南小)
さつない学園小小・小中授業参観交流(札南小~6日)
- 6日(金) まくべつ学園第5回学園会議(全体会議)~義務教育学校開校に向けて
- 9日(月) まくべつ学園小6中3合同総合「ふるさと学習~まちづくり~」
- 12日(木) 糠内学園定例経営部会
- 13日(金) さつない学園小中授業参観交流(札内中)
- 19日(木) 札内東学園中学校登校
さつない学園小中生徒指導交流
糠内学園「総合」発表会交流(糠内小 グリーンタイム)